けんせい歯科ニュース

No14

2016年1月発行

「CAD/CAM(キャドカム)冠」って知っていますか？

けんせい歯科　歯科技工士　関　多革司

CAD/CAM(キャドカム)冠とは、歯科用 CAD/CAM システム(今までは手作業で製作されてきた補綴物の工程(設計や加工)の一部をコンピューター制御の機器に置き換える一連のシステムのこと)を用いたハイブリッドレジン歯冠補綴物のことです。このハイブリッドレジン歯冠補綴物は、別名ハイブリッドセラミッククラウンと呼ばれ、プラスチック(レジン)にハイブリッド(陶器)を混ぜた材料で作られた白い被せ物のことで、自費治療として当院でも 40,000～45,000 円(税抜)で行っています。2014 年 4 月 1 日より、小臼歯 (4 番 5 番)の単冠に対してのみ健康保険に導入され保険適用となりました。この導入により 3 割負担の方で約 8,000 円程度の負担で出来るようになりました。ちなみに今までの銀色の被せ物は 3 割負担の方で約 3,600 円程度となります。

CAD/CAM 冠の利点

保険適用なので安価です。白い色をしているので天然の歯とかみ合わせても天然の歯が削れにくい素材で出来ています。噛んだ時のあごへの負担が少なく、そして金属アレルギーを起こしません。

CAD/CAM 冠の欠点

保険適用内は前から 4 番,5 番目の歯にしか使えません。白いですが、色調が単調で年数が経つと変色してきます。金属より強度が低いため、入れ歯のバネがかかる歯には適用できません。

CAD/CAM 冠の作る過程

1) 作製する歯の印象(歯型)やバイト(高さを決定するもの)を採得し、石膏模型を作製します。
2) 石膏模型およびバイトを、CAD/CAM 装置が設置されている歯科技工所等へ委託します。
3) 石膏模型をスキャン(歯の形状を読み取る)し、データを基に CAD/CAM 装置を用いて、技工物のデザイン削り出します。
4) 削り出された技工物を、歯科技工士が調整します。
5) 歯科技工所から CAD/CAM 冠を納品され、歯科医師が患者さまの口腔内で調整し装着します。

※　詳しくはお気軽にご相談ください。

CAD/CAM 冠の画像検索結果から引用

参考：CAD/CAM 冠解説記事—AHMIC21・CAD/CAM 冠—杉原歯科・保険対応 CAD/CAM 冠—(株)佐藤歯研・保険診療で受けられる CAD/CAM 冠をご存じですか—いなだ歯科　より